



図書館インフォメーション



わくわくおはなし会

1月10日(月)、1階視聴覚室において、図書館ボランティアたけのこ会によるおはなし会が開催されました。ボードビルや人形劇、手遊び、読み聞かせなど披露され、参加した子ども達はカラフルな人形や楽しい音楽とともに和やかな時間を過ごしました。また工作では、折紙のこまを作り親子で楽しいひとときを過ごしました。次回がまた、たのしみですね!



富河保育所おはなし会

1月20日(木)、富河保育所のお誕生会に図書館職員が参加しました。読み聞かせや、パネルシアター、スケッチブックシアターなどを行い、うた遊びでは保育所の先生と一緒に元気いっぱいに参加し、楽しいお誕生会となりました。おはなしの一つ一つが子どもたちにとって、物語の世界を想像する楽しさへとつながるきっかけになってほしいと思います。

おすすめ本

一般書展示コーナーにおいて「直木三十五賞」「芥川龍之介賞」「本屋大賞」、児童書コーナーにおいて「MOE絵本屋さん大賞」など、最新の受賞作・ノミネート作品の他、近年の受賞作をご紹介します。どうぞご利用ください。

図書館の予定

- 乳幼児リトミック教室
3月2日(水)
午前10時30分～11時30分
- わくわくお話し会(ティバアの会)
3月12日(土)
午後1時30分～2時30分
- 乳幼児おはなし会 のんたんのへや
3月9日(水)・16日(水)・23日(水)



※各種催し物は、新型コロナウイルス感染予防のため中止になる場合があります。なお、中止の場合はFM告知放送でお知らせします

町立図書館では、年代別のおすすめ本の紹介などの情報を図書館だよりで配信しています。図書館だよりのバックナンバーは右のQRコードを読み取るとご覧いただけます。



美術館の予定

早蕨作品展

- 2022年3月6日(日)～2022年3月27日(日)
- ◆ 午前9時30分～午後5時まで(入場は午後4時半まで)
(最終日の27日(日)は午後3時まで)
 - ◆ 休館日は月曜(3月21日は開館)、3月22日(火)
 - ◆ 観覧料：無料

毎年開催される早蕨作品展。今回も小学生から成人の方まで幅広い早蕨会会員の方々の油絵、水彩画、陶芸作品など数々の力作を展示いたします。ご近所お誘いあわせご来場ください。



さわらびてん

(イベント・講座のお問合せ 62-9292) 南部図書館 事務室までお願いします。

今月の新刊情報

「威風堂々」上・下

伊藤潤著

名手と謳われた旧志位佐賀藩主・鍋島直正（閑叟）に見いだされ、歴史の舞台に躍り出た大熊重信。

動乱の幕末明治を駆け抜け、日本を近代国家へと導いた男の生涯を描く。



「にべ屋往来記」

村木嵐著

東海道から身延山道に入った万沢宿にある旅籠・にべ屋。主の智吉は宿を継いで十年が経つ。今日も、にべ屋には厄介事が持ち込まれ…。旅人と宿場の人々が織り成す悲喜こもこも。

「その日まで」

瀬戸内寂聴著

百歳近く生きつづけて、最も大切なことは、自分の生きざまの終わりを見とどけることだけであった。切に愛し、いのちを燃やし、ペン一筋に生き抜いた瀬戸内寂聴99歳、最期の長篇エッセイ。



「一期一会の人びと」

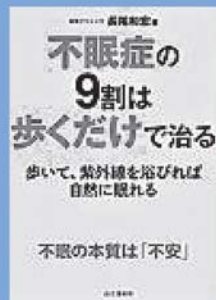
五木寛之著

一瞬の出会いだからこそ色褪せぬ記憶もある。森瑤子、フランソワーズ・サガン、川端康成、ミック・ジャガー、太地喜和子。五木寛之が19人のレジェンドとの思い出を綴る。

「ヒトの壁」

養老孟子著

新型コロナウイルス渦禍と五輪、死の渦をのぞいた自身の心筋梗塞、愛猫まるの死、人生そのものが、不要不急ではないか。それでも生きる価値はどこにあるのか。2年間の体験から問い直す究極の人間論。



「不眠症の9割は歩くだけで治る」

長尾和宏著

起きている時間が充実すれば、睡眠はうまくいく! 病気だけでなく患者の生活も含めてまるごと診ている町医者が、「どうして眠れなくなるのか」「どうしたら寝られるのか」をわかりやすく解説。

人気女性作家ランキング2022!



LIBRARY

ここ数年女性作家の活躍が目にとまります。女性ならではの視点で描かれた数々の個性あふれる作品は、受賞作も多くドラマや映画化により更にストーリー性を生み出しています。

今回は、図書館において貸出が多数あった作家を紹介します。すでに読まれた方も多いと思いますが、お家時間が多かった今、改めて触れてみてはいかがでしょうか。

NO1 辻村深月 NO2 町田そのこ NO3 柚木裕子 NO4 湊かなえ
NO5 瀬尾まいこ NO6 恩田陸 NO7 宮下奈都 NO8 宮部みゆき